

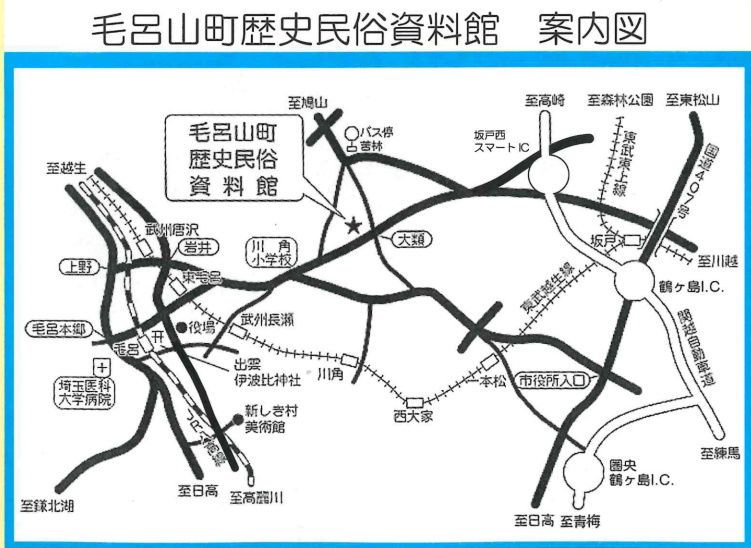
毛呂山町歴史民俗資料館



〒350-0432
 埼玉県入間郡毛呂山町大字大類 535 番地
 電話番号 (049) 295-8282
 FAX 番号 (049) 295-8297
 HP「毛呂山町」のトップページからアクセス
 E-mail rekisi@town.moroyama.lg.jp

スタンプコーナー

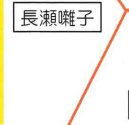
来館の思い出に

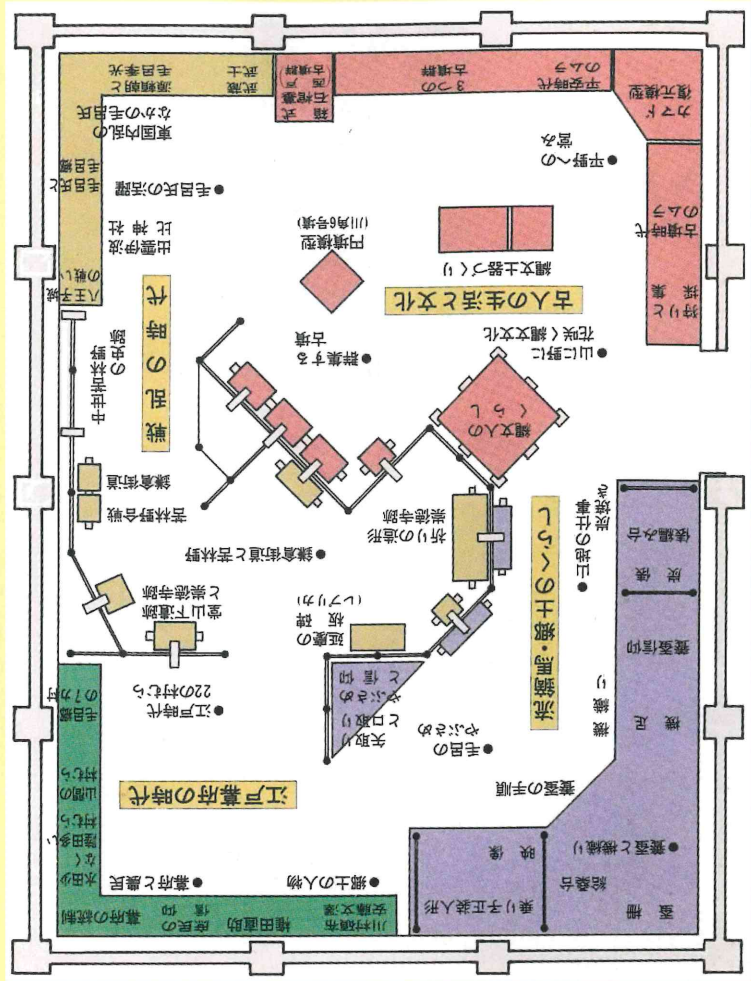


ご利用案内

開館時間 午前9時から午後5時まで
 休館日 毎週月曜日・祝日の翌日・臨時休館日
 年末年始（12月27日～1月4日）
 入館料 無料
 交通
 ・東武越生線武州長瀬駅よりタクシー5分
 ・JR八高線毛呂駅よりタクシー15分
 ・東武東上線坂戸駅より「大橋」行きバス乗車
 「苦林」バス停より徒歩20分
 ・関越自動車道坂戸西スマートICより車で7分
 ・関越自動車道鶴ヶ島ICより車で15分

毛呂山町 民俗芸能カレンダー

月	行事予定
7	15日に近い（土） 毛呂本郷夏祭り （毛呂本郷地内曳行） 
10	第2（日）大類の獅子舞（十社神社） 葛貫の獅子舞（住吉四所神社） 滝ノ入の獅子舞（住吉神社）     左から：葛貫・大類・滝ノ入・川角
	第3（日）川角の獅子舞（八幡神社）
11	3（祝）やぶさめ祭り （出雲伊波比神社） 
1	元旦 お囃子奉納    長瀬囃子 春のやぶさめ
3	第2（日）春のやぶさめ祭り （出雲伊波比神社）



郷土の暮らし

農家の貴重な収入源であった養蚕は毛呂山でも盛んに行われており、繭や生糸、絹織物として出荷されています。展示では、養蚕と共に農家の生活の一部となっていた炭焼きの様子を紹介しています。

古人の生活と文化

毛呂山町では、人々が定住を始めた縄文時代に、大型のムラの跡が発見されており、土器や石器をはじめとした数多くの遺物が出土しています。各地に王や地域の有力者の墓が築かれた縄文時代には、縄文のムラに沿いに数多く古墳が出現します。

古墳出土の副葬品

縄文のくらし展示コーナー

養蚕と機械織り展示コーナー

貴族が登場し、律令という法律で国の統治が進んでいた奈良・平安時代に入ると、遺跡からは役人たちの官位を示す装飾品や文字が記された土器、鉄製の農具などが出土しており、地域開発が進んでいった様子を窺うことができます。

墨書土器

探ることが出来ます。

戦乱の時代

毛呂山は、毛呂氏をはじめとした武蔵武士の登場、鎌倉街道や崇徳寺といった史跡、苦林野合戦の伝承など中世の歴史遺産が数多く残されています。展示では、「毛呂氏の活躍」と「鎌倉街道と苦林野」を中心に毛呂山の中世を紹介しています。

江戸幕府の時代

江戸時代の毛呂山は、街道筋で大きな賑わいを見せた町場と新たな開墾を進め、新田開発に勤む農村の暮らしが地味な文書や地誌から伺うことができます。幕末には、草莽の士として活躍し、神道学や国語学の発展に尽力した権田直助や埼玉俳壇史に名を残した川村碩布、江戸時代に種痘の普及に功績を残した安藤文澤といった偉人達を生み出しました。

流鏝馬

毛呂のやぶさめは子どもが乗る（騎者）を務める全国的にも珍しい民俗芸能です。展示では、祭りに用いる衣装や道具をはじめ、祭りの流れを解説した記録映像を上映しています。

権田直助肖像画

乗りの正装展示コーナー

歴史と文化

山と平野の里

外秩父山地の裾野に位置する毛呂山町は、西部の山間で華開いた古代仏教文化や中世の古道鎌倉街道と毛呂氏をはじめとした武蔵武士の活躍、東部の越辺川周辺に広がる古墳群など、歴史の足跡を数多く残す町です。

毛呂山町歴史民俗資料館は、郷土の資料収集・保存、及び調査と活用のため平成5年（1993）に開館しました。

歴史民俗資料館の目的

（資料の収集・保存）
 毛呂山町の歴史民俗に関する資料を収集し、保存します。

（収集資料や文化財の調査・研究）
 収集した資料や町の文化財を調査、研究し、町の歴史や文化の解明に努めます。

（教育普及活動）
 展示会や講座などを通して収集資料の活用を図り、郷土の学術と文化の向上に寄与します。

越辺川の流れ

山々に実る桂木ゆず

毛呂山町文化財マップ



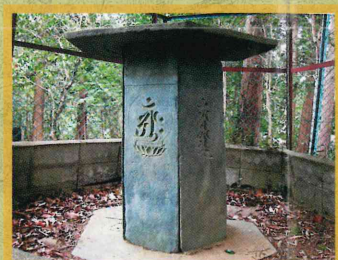
慶派仏師の秀作
木造阿彌陀如来坐像
高福寺【滝ノ入】



浮き彫りの車輪が
珍しい車地藏
大谷木の車地藏
【大谷木】



悪疫予防に建立された
岩船地藏尊の分身
北向地藏尊【権現堂】



埼玉県内有数の六面幢
山根六角塔【宿谷】

北向地藏尊

大谷木の車地藏

山根六角塔・宿谷地藏尊



天明の大飢饉の供養塔
八幡神社の宝篋印塔
八幡神社【川角】

高福寺の文化財
木造伝聖観音菩薩坐像
木造阿彌陀如来坐像

行蔵寺の文化財
木造薬師如来坐像

金毘羅様のスダジイ

安藤文澤一族の墓

天満宮の的額

大行寺地藏尊

長栄寺の文化財
毛呂氏の墓・供養塔
木造大日如来坐像

嘉元の板碑

碩布の句碑

神馬奉納絵馬



葛貫牧伝承地の文化財
神馬奉納絵馬 住吉四所神社【葛貫】

〔歴史の道百選〕
鎌倉街道

花見堂の俳額

山本坊の芭蕉の句碑

八幡神社の文化財
芭蕉の句碑
八幡神社の宝篋印塔

明和の馬頭観音

川角村道路元標

出雲伊波比神社の文化財
出雲伊波比神社本殿付棟札
出雲伊波比神社の俳額
出雲伊波比神社の勝海舟幟
武道奉納額

延命寺の文化財
木造不動明王立像
旗本藤懸氏寄進資料



毛呂山が生んだ俳諧の巨匠
川村碩布の一句
碩布の句碑【長瀬】

色かへぬ
かわりやまつに
秋の声



鎌倉時代から伝わる
不動明王様
木造不動明王立像
延命寺【下川原】



苦林野合戦の記憶を伝える
苦林野合戦供養塔
【川角（玉林寺）】



町内唯一の
阿彌陀様を刻んだ庚申塔
西大久保の阿彌陀庚申塔
【西大久保】

鎌倉街道と中世の毛呂山

毛呂山町の東部には、中世の歴史の道「鎌倉街道」が南北に縦断しています。なかでも市場・西大久保地区の「鎌倉街道掘割遺構」は、掘割の形状を今も留めており、中世の道の様子がわかる貴重な遺構です。

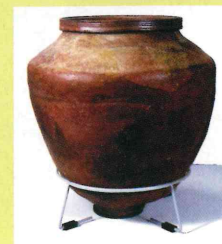
鎌倉街道周辺には、中世の苦林宿と考えられている「堂山下遺跡」や「崇徳寺跡」、埼玉県内有数の大型板碑である「延慶の板碑」などの史跡や文化財があります。



鎌倉街道掘割遺構



延慶の板碑



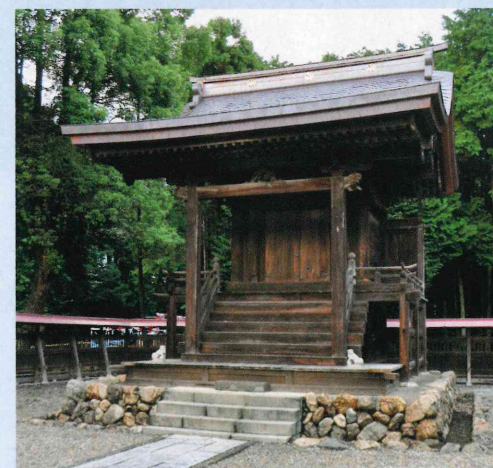
堂山下遺跡から
出土した常滑焼の大甕

毛呂氏と出雲伊波比神社

毛呂山町の中央部には、鎌倉幕府の御家人として名を馳せた毛呂季光とその子孫たちにまつわる史跡や文化財が数多く残されています。

なかでも町の中央に位置する小高い山である「臥龍山」の頂上に建つ出雲伊波比神社は、毛呂氏が氏神として信仰した神社です。

現存する一間社流造の本殿は、大永8年(1528)に毛呂顕繁によって再建された埼玉県内最古の神社建築として、国の重要文化財に指定されています。



出雲伊波比神社本殿

毛呂山の仏教文化-毛呂山の仏像

町西部の山間部は、古代から山岳仏教が花開いた地域です。

滝ノ入地区の桂木寺や桂木観音堂には、木造伝釈迦如来坐像をはじめとした平安時代の木彫仏が数多く伝わっています。

中世には、慶派仏師の作と伝わる高福寺木造阿彌陀如来坐像や延命寺の木造不動明王立像など鎌倉期の優美な仏像が伝わっています。桂木寺木造伝釈迦如来坐像



民俗芸能 - やぶさめ・獅子舞・お囃子

毛呂山町では、3月と11月に、出雲伊波比神社でやぶさめが行われます。毛呂山のやぶさめは、春は幼児、秋は小中学生が射手となる全国でも数少ないやぶさめです。

10月には、町内各地で獅子舞が行われます。毛呂山の獅子舞は男獅子2頭、女獅子1頭の3頭が登場します。

お囃子は、長瀬地区と毛呂本郷地区が継承しており、夏祭りなどで奉納しています。



出雲伊波比神社のやぶさめ



大類の獅子舞
(大類 十社神社)



川角の獅子舞
(川角 八幡神社)



長瀬囃子



葛貫の獅子舞
(葛貫 住吉四所神社)



滝ノ入の獅子舞
(滝ノ入 住吉神社)



毛呂本郷囃子